

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	緊急時対応事業				シート番号	011-161
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害者支援	課 評価責任者(課長名) 佐野

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 29 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	堺市障害者緊急時対応事業実施要綱			
	4	関連計画	第4次堺市障害者長期計画・第5期堺市障害福祉計画			
5	事業実施の経緯	障害者の高齢化や重度化、介護者の高齢化(介護力の低下)などへの対応策として、平成24年度に「在宅障害者の緊急時を含めた24時間対応サポートを軸とした、障害者の地域生活を支えるための身近な支援拠点」の整備を検討し、平成26年度から平成28年度まで、検証事業として夜間・休日等に緊急時の短期入所施設利用のための電話相談「安心コールセンター事業」を実施した。検証事業を踏まえ、現場へ支援員を派遣して対応や移送を行う機能を加えた本事業を平成29年度から実施している。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()					
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	急病など介護者の緊急時に介護を受けられなくなる障害者(次の①～③いずれにも該当する方) ①堺市在住で介護者と同居している18歳以上の方 ②障害支援区分3以上 ③短期入所の支給決定者で短期入所事業所と利用に係る契約を締結している方					
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	障害者の地域生活支援を推進する観点から、急病など介護者の緊急時に障害者が住み慣れた地域で安心して暮らせる仕組みを構築する。					
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	急病など介護者の緊急時に介護を受けられなくなる障害者を対象に、事前に緊急時の対応を希望する法人の短期入所事業所等へ登録を行い、当該法人の夜間・休日祝日のコールセンターへ連絡することにより、短期入所事業所の受け入れに係るコーディネートや必要に応じて現場へ支援員を派遣する。					
10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 特定非営利活動法人 堺市相談支援ネット						

Ⅲ. 投入量

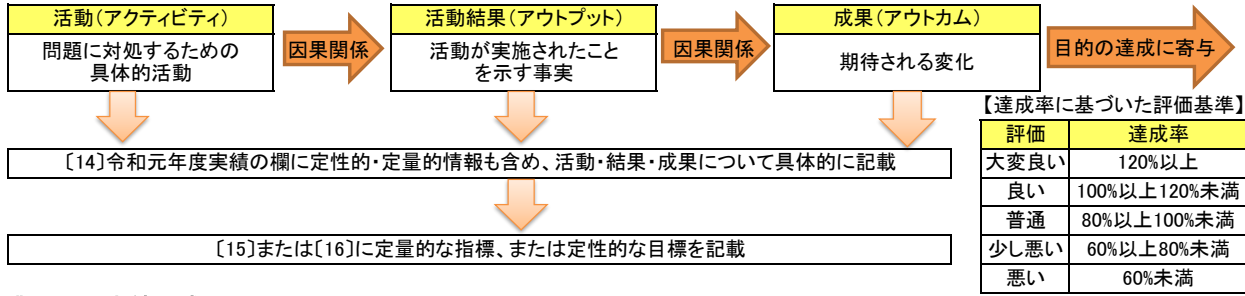
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算	
11	事業費 (a)	千円	13,395	12,432	13,395	12,372	12,520	12,345	12,015	
	主な事業費内訳	委託料	千円	13,395	12,432	13,395	12,372	12,520	12,345	12,015
			千円							
			千円							
	財源内訳	国・府支出金	千円							
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
		市債	千円							
その他()		千円								
	一般財源	千円	13,395	12,432	13,395	12,372	12,520	12,345	12,015	
12	人件費 (b)	千円	1,640	1,640	1,640	1,640	1,620	1,620	1,640	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	15,035	14,072	15,035	14,012	14,140	13,965	13,655	

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	緊急時対応事業	シート番号	011-161
-------	---------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績							
活動実績と成果	14	障害者が地域で安心して暮らし続けることができるように、障害者を在宅で介護している介護者が、急病等といった緊急の事由により介護を行うことができなくなった場合に、障害者に対して迅速な支援ができるように実施している事業であり、11事業所が夜間・休日のコールセンターを担っている。事業を利用するには、事前に家族や本人からの利用登録の申請が必要で、令和2年3月末現在で、324人が登録しており、グループホームへの入居等で昨年度から11人減となっている。また、家族の急病などで介護を受けられなくなった障害者に対して、短期入所事業所で受け入れできるようコーディネートなどを7件実施した。					
	指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	15	緊急時対応事業登録者数(3月末時点)	人	目標値	-	-	-
				実績値	293	335	324
				達成率	-	-	-
				評価	-	-	-
	算出方法・設定根拠など		利用希望が一定ではないため、目標値は設定しない。				
	指標名【活動指標】		単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	16	緊急時対応件数(年間)	件	目標値	-	-	-
				実績値	8	6	7
				達成率	-	-	-
				評価	-	-	-
	算出方法・設定根拠など		介護者の緊急時に対応した延べ件数(緊急事態の発生を数値目標として想定するのは適当ではないため、目標値は設定しない。)				

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	緊急時対応事業登録者数	人	293	335	324
	②	上記①にかかる年間経費	千円	13,866	13,874	13,756
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	47,324	41,415	42,457
	備考(算出についての説明等)		事業のしくみの構築・維持に係る経費(固定費)			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	緊急時対応件数	件	8	6	7
	②	上記①にかかる年間経費	千円	206	138	209
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	25,750	23,000	29,857
	備考(算出についての説明等)		緊急時対応に要した経費(実績)			

業績の分析

19	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析(その他、関連情報に基づいた分析)	<p>事業所間で情報の共有や連携をしていることもあり、緊急時に対する短期入所事業所などへの対応を迅速に行うことができています。</p>	<p>【分析のチェックポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 事業の達成度はどうでしたか。 ○ 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。 ○ 資源投入は適切でしたか。 ○ 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。 ○ 有効性は高いですか。低いですか。 ○ 効率性は向上していますか。 ○ RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありましたか。 ○ ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	緊急時対応事業	シート番号	011-161
-------	---------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 急病など介護者の緊急時に、介護が必要となる在宅で生活している障害者に対して迅速な支援が難しくなる。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 急病など介護者の緊急時に、介護が必要となる在宅で生活している障害者に対して迅速な支援が難しくなる。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 事務手続きの軽減等を図りコストを縮減する。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input checked="" type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 短期入所事業所に対しては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向け、消毒液を配布している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は■、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は□) ① <input checked="" type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input checked="" type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input checked="" type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 公民連携の推進については、すでに民間委託を実施している。対面による支援であるため、ICT活用は不安。また、国において、障害者の重度化・高齢化や「親亡き後」を見据え、居宅における障害者の生活を地域全体で支えるサービス提供体制を構築する「地域生活支援拠点等」の機能の1つとして行っている事業であり、国との役割分担ができています。他市においても類似の事業を実施しており、サービス水準も同程度である。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見	緊急時の対応件数は少ないものの、障害者を在宅で介護している介護者が急病などにより介護できなくなった場合に、不可欠な事業であり、引き続き実施していく。	